

令和4年度 資源循環局 運営方針

1 基本目標

■ 安定したごみ処理の継続と市民サービスの向上

・新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、ごみ処理をしっかりと継続し、安全安心な市民生活と事業活動を支えるとともに、市民サービスの更なる向上に取り組めます。

■ SDGsの達成と脱炭素社会の実現に向けた取組の推進

・世界的な課題である食品ロス削減やプラスチック対策を進めます。
・2050年「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、事業者等と連携した「環境にやさしいエネルギー」の更なる創出・活用を進めます。

■ 新たな一般廃棄物処理基本計画の策定

・「横浜G30プラン」・「ヨコハマ3R夢プラン」に続く新たな一般廃棄物処理基本計画の策定を進め、超高齢社会の進展や施設の老朽化等、時代の変化に着実に対応していきます。

2 目標達成に向けた施策

重点施策	主な取組・内容
安定したごみ処理	○感染防止対策の徹底など、ごみ処理を継続するための取組 ○ふれあい収集、粗大ごみ持ち出し収集など、ごみ出しが困難な方を支援する取組 ○ICTツールを活用した、粗大ごみの申込みやごみ分別アプリ等に関する取組
食品ロスの削減 プラスチック対策	○飲食店におけるナッジを活用した食品ロス削減行動の促進 ○地域メディアや国際機関等と連携した食品ロス削減に向けた取組の実施 ○「プラスチック資源循環法」を踏まえた、プラスチックリサイクルの拡大に向けた調査・検討 ○市民の皆様の具体的な行動に結び付くよう、事業者によるワンウェイプラスチック削減や自主回収などの取組の推進と削減に向けた広報・啓発
環境にやさしい エネルギーの 創出・活用	○ごみ焼却工場の排ガスからCO ₂ を分離・回収、利用する実証試験の開始 ○はまっこ電気など「環境にやさしいエネルギー」の地産地消の推進 ○鶴見工場の熱エネルギーの地域利用に向けた調査・検討
将来を見据えた 施設整備	○保土ヶ谷工場の再整備を地域の理解を得ながら推進 ○鶴見工場の長寿命化対策工事の完了 ○老朽化した資源選別施設の再整備に向けた調査・検討 ○南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場の排水処理設備の増設

その他推進施策

3Rの推進 (環境学習・広報啓発等)	まちの美化 (歩きたばこ防止、トイレ整備等)	国際協力 (アジア・アフリカ諸国の支援)	PCB廃棄物対策 (事業者への広報・調査)	災害対策 (事業者との協定等)
-----------------------	---------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------

3 目標達成に向けた組織運営

現場主義の徹底 現場で働く職員の目線を大切にし、組織が一丸となって業務に取り組めます。また、ベテラン職員から若手職員への技術継承を行うなど、現場のノウハウをしっかりと継承していきます。	信頼・期待に応える行政の推進 市民の皆様からの信頼確保に向け、作業中の事故、公務災害の防止など安全対策の徹底や、不適切な事務処理、個人情報漏えいなど不祥事の防止に全職員で取り組めます。
多様な社会ニーズへの対応 市民・事業者等との連携やデジタル化の推進などにより、費用対効果を高めつつ、様々な地域ニーズへの対応や市民サービスの向上に取り組めます。	職員の意欲と能力を発揮できる環境づくり 育児・介護と仕事の両立支援や男女共同参画等の視点を踏まえ、職員のワークライフバランスを推進し、意欲と能力を最大限に発揮できる風通しの良い職場環境づくりを進めます。